

◆日程 2016年7月16日(土)～7月17日(日)

◆メンバー L：須田、雫、前田

7月の三連休、テント泊にて広河原からの北岳登山。甲府駅より4時35分発の南アルプス登山バス(山梨交通)を利用するため、甲府駅構内にて前泊することになる。同じ目的の登山者が構内にマットとシュラフを広げ仮眠している。数十人はいただろうか。これだけいると安心して眠れる。

### 7月16日(土) 天候：晴れ

始発バス時間が近づく慌ただしくなってくる。バス停に並ぶと既にたくさんの登山者が……。だが、臨増便も運行しており広河原までの2時間の道のりは、座って乗車できた。

広河原からは共同装備を分担して左俣コースで登山開始。さすがが連休、登山道は渋滞し自分のペースでは登れない。先行者が譲ってくれるまで待つしかない。時には、

「コッチも苦しいのに譲ってくれなくてもいいのに……」と弱音を思いながらも、雫&須田さんに離れぬよう頑張っついていく。また、オーバーヒート気味な私を案じて、いつもより多めの休憩を頂けたのだと思う。ありがたく申し訳ない。

高度が上がるにつれ勾配も急になっていく。登山者も分散して先は開けるが空気が薄くて苦しい、休みたい。しかし振り返れば、雲海の上から富士山が頭をだして少しだけテンションが上がる。単純な自分。そんな精神的な葛藤しながら北岳山頂到着。山頂はたくさんの登山者で賑わっており、気温も丁度よく、達成感で満たされました。

テン場の肩の小屋へ移動。さすが眺望の良さで定評あります。一瞬ガスが抜けると360度のパノラマが。遠く北アルプスの山々まで望めて気分がいい。生ビールを飲みながらの眺望はなおさらです。夜食は、須田シェフ特製のキムチ鍋で再度乾杯。テント内はキムチ効果と熱気で酒もすすみます。

CT：広河原7：20→大樺沢二俣10：00→八本歯コル12：00→北岳山頂14：00→  
肩の小屋15：00

### 7月17日(日) 天候：晴れ

二日目の朝は右俣コースを通り下山となりました。甲府駅では「ちよだ」というほうとう料理屋で「おざら」と馬刺しで反省会。「おざら」とは、簡単に言うと「つけうどん」とでも言いましょうか。さっぱりして、おいしゅうございました。

※今回狭い区域に登山者が多いためか、ドコモではアクセス制限されていました。メール等は使用可能であったが、インターネット関係は使用不可。

CT：肩の小屋6：30→大樺沢二俣→広河原9：30

(記：前田)



### 【北岳の高山植物】

南アルプスは各所に数多くのお花畑が出現し皆の目を楽しませてくれるが中でも北岳は植物学上貴重な植物の生育場所となっている。一例をあげてみるとキンポウゲ科のキタダケソウは北岳特産のものとして有名。他にもタカネマンテマ、キタダケキンポウゲ、キタダケナズナ、キタダケナズナ、シダの一種のクモイカグマ、キタダケヨモギ、キタダケデンダなど特産種や希品が多い。

(記：雫)



今回は残念ながら見えなかったキタダケソウ

### 【北岳バットレス】

久し振りの北岳バットレスをまじかに見た。懐かしく昔を思い出し、登っているクライマーを見て嬉しくなりました。北岳の東面にある大岩壁、山頂からの標高差は約600メートルで、南アルプスを代表する岩場。大まかには大樺沢右俣と左俣の間の岩壁を指す。6つの顕著な岩稜があり、岩壁に向かって右から東北尾根、第1尾根、第2尾根、第3尾根、第4尾根、第5尾根と呼ばれ、尾根と尾根の間に食い込むガリー（岩溝）にもそれぞれ名前が付いている。バットレス下部の横へ延びる垂直に近い岩壁は下部岩壁帯という。

(記：雫)